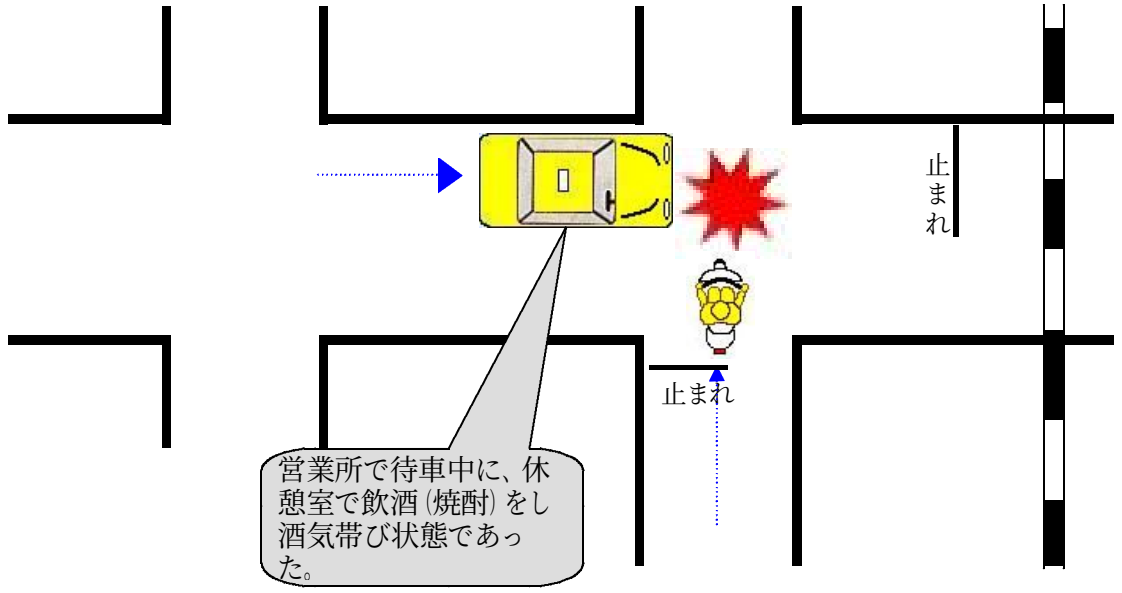
事故事例　〔ハイ・タク　1〕

曜日・時間・天候	土曜日・23時15分・雨
場　　所	市街地の一般道十字路
道路の状況	湿り、平坦、交差点、幅員3．9 m
運　転　者	年齢58歳、運転歴10年9ヶ月
乗務開始から事故発生の乗務距離	133 km
損　　害	軽傷者1名

〔事故概要〕

営業所において自宅から持参した焼酎を飲酒し、仮眠しようとしたところ乗客が来たので同営業所から乗せ出発したが、5分後に信号機のない交差点において、右方向から進入してきた原動機付自転車と衝突し、相手方に重傷を負わせた。



種別　・　業態	小型・一般乗用
乗　車　定　員	6名
当時の乗車定員	2名

【推定原因】

- ○　酒気帯びに伴い適切な判断力が欠如していたため
- ○　信号機のない交差点での安全確認を怠ったため
- ○　深夜は交通量が極少になるり、他に車はいないだろうとの思い込みによる注意不足のため
- ○　原動機付自転車の飛び出しのため

【事故の要因】

- ○　酒気帯びにより注意力が低下していた
- ○　雨が降っていたので視界が悪かった
- ○　深夜であったので通行車両がないだろう運転をしていた
- ○　交差点において他の車両に対する注意を怠った

【運転ミス要因（心身、態度、技術）】

- ○　飲酒により適切な判断力が欠如していた

【事故の再発防止対策】

- ○　飲酒、酒気帯びによる乗務の禁止及び営業所内での禁酒の徹底
- ○　交通量が少なくても交差点おける安全確認の徹底
- ○　信号機のない交差点での一時停止及び徐行運転の徹底
- ○　乗務員に対する生活習慣（日常生活における飲酒）の指導の徹底